

自然と人が共生するまち

The city where nature and human coexist

広
報

あくね

2003年

2月号

No.673



■ 今月号の主な内容 ■

- 2003年 新春座談会
『今 時代はアジア』
～進展する国際化と
活力ある地域づくり～ …… 2
- 平成15年 成人式 …… 13
- えびす祭りとともに
受け継がれる 心と伝統 …… 14
- みんなのアルバム …… 16



えべっさん 今年も頼んでな!

『今 時代はアジア』

～進展する国際化と 活力ある地域づくり～



対 談 者

阿久根市長

齊 藤 洋 三 氏

(有)丸吉商店 代表取締役

吉 瀬 靖 人 氏

(株)上野製作所 代表取締役社長

林 新 富 氏

(株)下園薩男商店 取締役社長

下 園 満 氏

(有)クマモト水研 代表取締役

隈 元 幸 信 氏

(司会) 阿久根市総務企画課長

山 田 実 氏

世界の工場として、そして巨大市場として急速に発展する中国をはじめ、昨年は日本との共催でFIFAワールドカップが開催された韓国など今、世界中の視線がアジアの国々に注がれています。わが国においても、人的交流はもとより豊富なモノの流通などを通じて、アジアの国々が私たちの生活の中で身近なものになってきています。

そこで、2003年の新春にあたり、日頃からボランティア活動や技術交流、研修生受け入れなどを通じて、国際舞台でご活躍しておられる方々の中から、とりわけ驚異的な発展を続けている中国と独自の交流を深めておられる4人の方々にご出席いただき、斉藤市長を交えながら、国際交流を活用した新たな地域づくりの在り方についておおいに語り合っていました。

司会 皆さん明けましておめでとうございます。本日は、新年早々ご多忙のなか2003年の新春座談会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日は、座談会のテーマにふさわしく、国際舞台で活躍しておられる4人の方々にご出席いただきました。新春にふさわしいお話が聞けるのではと期待をいたしております。どうぞ、よろしく願っています。

それでは、最初に斉藤市長から新年のあいさつをお願いいたします。

市長 明けましておめでとうございます。今年もよろしく願っています。

2002年は非常に厳しい年でした。2003年はなんとしても今のこの厳しい状況を打破していく道を見つけてほしいということ、今日は中国に交流を持ってもらえる4人の方々にお集まりをいただきました。新春座談会にあたり阿久根と中国との関係をぜひ構築して阿久根の将来に希望と展望の持てる道を切り開きたい、そういう意味で、今日お集まりいただいたわけでございます。本日の座談会が、2003年

に希望の持てる、そして市民の皆さまにとつても大きな力になるものになればと思っております。どうかよろしくお願い申し上げます。

司会 それでは、お一人ずつ自己紹介と、中国との関わりについてお伺いしたいと思います。

緑遣唐使として

**黄土高原の緑化事業に参加
本音で語り合える交流を**

吉瀬 私が参加している緑遣唐使は、中国の甘肅省、陝西省に広がる黄土高原の緑化事業を行う民間ボランティアで現在、榆林市や延安市での植樹を行っています。実は私自身、第一回は観光旅行のつもりでした。ところが、黄土高原のすさまじさとい

いますか、木がひとつも生えていない大地が連なっている現実を見て、日本が大変なことになるということをまず感じました。偏西風で黄砂が飛来しますが、窒素酸化物もさることながら酸性雨が日本に飛来する可能性が非常に高いということからこれは何とかしなくてはという

思いにかられて始めた事でした。

最初の頃は、日本からの団員の中にも何か施しをしに行くというような感じがありました。私は「それではいけない、これは日本のために行っているんですよ」と盛んに申しあげました。中国の方々にも、「我々はあなた方に対して援助に来たのではない。あなた方と一緒になつて黄土高原に緑を作るためにやるんです」と、緑の大切さをPRする活動を盛んにやりました。同時に、大人ばかりでなく、子どもたちとの交流も合わせて進めてきたのが今日までの、私たちの緑遣唐使の交流です。

なぜ遣唐使かといいますが、聖徳太子が西暦600年に第一回目の遣唐使を派遣してから約17回、日本から遣唐使が行きま

は生れてこないのではないかと向こうに行く度に思います。今年もまた4月から行って参ります。そしていろんな中国の方とお話をします。その中でやはり、お互いの本音を語り合えるという間柄になっていかないとま

り商売と一緒に相手をよく知らないとなかなかうまくいかないという気がいたしております。

国際留学を経て企業活動

**中国人として
日中交流の接点に**

林 私は、先ほど市長が提案された国際交流について、大賛成です。私自身も15年前に国際留学生として中国から参りまして日本人の方からいろいろな応援を受けました。そういうご恩に対して感謝しなければいけないという思いがあります。日本が留学生に対してやっていることは、多くの国の人たちに友好の種をまいています。例えば今

イスラエルと中東の衝突がありますが、あはれは、お互いに復讐の種を埋めています。日本は世界中に対して友好の種をまいていると思います。

私は日本で生活して、会社も経営していますが、日本のことをまだ充分理解していません。やはり日本人と広い範囲で深く交流しないと、日本人や日本の社会を充分理解しないままでは会社をうまく経営することはできません。上野製作所は地元会社ということで、市長をはじめ多くの方の力に支えられているおかげで、私の会社の経営ができています。これからも、皆さんの力をお借りしたいと考えていますが、そのためには交流が必要だと思えます。交流がないと、お互いに理解できません。もちろん、力を合わせることもできないと思えます。

私としては、中国人として、なんとか中国を理解するものを日本に紹介して、一緒に理解してもらおうことで地元貢献できることがあると思えます。私の外国人の目から見て、交流する必要がたくさんあると思うことの一つは、日本の見えていない部分が違うということです。日本は中国という交流して

いますが、やはり日本人の常識と中国人の常識は違います。だから、お互いに理解しないといけないと多くのチャンスが逃げてしまいます。よく交流すれば、理解も深まるので、視野が広がり判断力も高まり、お互いに有利になると思います。

日本と中国の距離は非常に近いです。中国は今、マーケットもどんどん広がっていて、日本人は一番利用しやすいと思います。文化も同じですし、日本の経済にとっても貢献があると思います。阿久根も中国に近いから、中国を利用すれば発展できると思います。

先程の吉瀬さんのお話と同じ

ことで、商売もやはりお互いに理解しないとダメです。ですから阿久根市でも、我々を接点として利用して、お互いに交流しながら、つながりを作れば順調に発展すると思います。

中国からの研修生受け入れ

日中の関係強化は

必然的な方向

下園 私は、中国からの研修生の受け入れということで、中国との交流があります。枕崎を拠点にして、山川や志布志、鹿児島市内の水産業者と一緒に鹿児島

島中国経済交流協同組合（鹿中協）を組織して、中国から研修生を受け入れていきます。現在、鹿中協の組合員が21社、今年新たに4社が加入することになっています。研修生は、鹿中協全体で、ここ2年間に103人を受け入れていきます。

私の会社では、毎年3人ずつ、3年間の在留期間で9人まで交替で受け入れることができます。今年で8人になりますが、場合によっては現在2つある工場を別会社にして、18人の受入れ体制にしようかとも考えているところなんです。今年も、昨年 continué 受け入れのための面接に、3月7日に訪中する予定です。

鹿中協の組合では、今年は約68人を受け入れる予定です、全体で170人程になります。書類審査を行い、集まってもらった200〜300人の訪日希望者の中から面接を行ないます。訪日前には中国で3か月間の日本語教育をはじめ、いろいろな研修、健康診断等を受けて入国します。大学卒業や短大クラスなどの専門学校の出身者など非常に高いレベルの研修生だと思っています。

農業、水産業、縫製業などは日本では労働力の不足や高齢化

が目立っていると思いますが、その労働力不足を補う手段として研修生が受け入れられています。一方、中国では、こうした農業、水産業、縫製業などが成長期にあり、中国の輸出品にもなっています。そのため、中国側も技術の習得等のためにも研修生を送り出そうとしています。こういう日中両国の感覚が一致するなかで、中国からの研修生が年々増加しています。この傾向は今後も続くだろうし、おそらく阿久根でも急速に増えてくると思っています。

また、一方で日本の企業はこれまで中国を生産拠点と位置付けてきたわけですが、ここ数年で巨大な消費市場という見方も定着してきています。日本は経済が成熟期に入り、生産拠点や消費市場として新たな発展の源泉を海外に求めざるを得なくなつてきています。一方、中国は経済のレベルアップを外国との提携の中で図りたいということ、日中の関係強化は必然的な方向であろうと考えています。

地元阿久根でも、将来は農産物や水産物等の国内消費の頭打ちということを考えれば、特に阿久根の場合は、歴史的にも地理的にも非常に中国との関係と

というのは、よそに比べれば有利なところもあると思うので、急速に発達する中国の消費市場ということを考えれば中国への農水産物の輸出を視野に入れるのが遠くない時期に来るのではないかと考えています。輸出入の立場が物によっては中国と日本が逆になっていく、特に食料に関する限り中国はまちがいないと。そのためにも今からできるだけのパイプを準備してソフトの蓄積をしていかなければならないと思います。

そういう意味で今回、行政がこのような企画を持ったという事は、大変タイムリーだったと思います。

有機農業で独自の技術交流の基本は食

隈元 私は、無農薬有機農業の推進に日本国内で取り組んできました。

私の所は水の研究所ですから私の作り出した水を利用することによる農法というのが日本全国に定着してきています。



(株)上野製作所 代表取締役社長
林 新富氏 (52歳)

約14年前に、中国から国際留学で来日。現在、同社代表として、海外での事業を積極的に展開。主力の電子部品や生産設備等の約80%を中国と韓国に輸出。

お互いを理解するためにも交流が必要。中国のことを紹介しながら、日中交流の接点として、地域の発展に貢献したい。

ターネット等を通じて中国や韓国からの依頼が多くなりまし
た。そのような中、去年の4月
に初めて中国の瀋陽に渡りまし
た。同時に大連、錦州など、上
海や北京と比べたら北の方に進
出しました。その結果、去年の
12月までに約6回程、要請を受
けて中国に行きました。

そして去年の10月、私の所の
水を売るといふ大きなビジネス
の契約を結びました。それらが
実績となり、12月18日から20日
に中国で開かれた会議に出席
し、そこで日本円にして約90億
円のプロジェクトの中心になっ
てくれないかということにな
り、現在はそれに取り組んでい
ます。

私は、それぞれの交流の事情
というものを通じて、これから
お話しするような阿久根市の活
性化につなげたいという思いが
あります。そのためには、いろ
んな力が必要です。それが行政
の力であり、民間の力でもあり
ます。

その中で私は、食と農業とい
うものに対して一番の思い入れ
を持っています。人やモノの交流の一
番の基本は食にあると思いま
す。それから住があり居がある

と。ボンタン一つをとっても中
国から来たということを考える
ときに、地理的にも中国に近い
ここ阿久根を日本の窓口にした
いというのが私の希望です。I
T分野なども全て含めて阿久根
を発信基地にしていく、私はそ
れを農業でやっていきたいと考
えています。それは決して不可
能なことではないと思います。

阿久根は食の大図鑑という看
板を掲げているように、やはり
食べ物を中心に、ここでいろん
な農作物を通じて、技術的なこ
とも含めてみんなで一緒に切磋
琢磨しながらいいものをブラン
ド化していく、それらがきちん
と認められれば、阿久根は日本
の窓口として位置することがで
きるかと確信を持っています。

具体的には後から提案しま
すが、私どもの力だけではできま
せんから、ぜひ皆さんの応援が
必要ですという気持ちで、これ
からの話し合いにのぞみたいと
思っております。

司会 ありがとうございます

皆さん方の中国との交流を通
じてのご活躍ぶりが伝わって
くるお話を伺ったところであり
ますが、ここで市長に感想をお願

いしたいと思えます。

今年はぜひ 阿久根にとってチャンス となるような交流を

市長 皆さま方のお話をお伺い
して、非常に力強さを感じまし
た。阿久根と中国の歴史的な関
わり合いの中から、相互の関
係をより深めるきっかけを作り
ながら阿久根にとって再びチャ
ンスが到来するような状況を作り
出していくために努力するのは
今なんだと、そういう実感を皆
さま方のお話をお聞きして感じ
ました。本当に力強い限りでご
ざいます。

具体的にやっていくとなると
いろいろな難問題が出てくると思
いますが、阿久根の人たちがみ
んなで協力し合えば、決して出
来ないことではないと思いま
す。ぜひ今年は、そのような交
流ができる状況を作り上げてい
きたいと思えます。

司会 それではここで、進展す
る国際化の中で、具体的に中国
と交流しておられる皆さまの今
後の抱負や展望、相互連携とそ



(有)クマモト水研 代表取締役
隈元 幸信氏 (54歳)
有機農業の分野で、自社開発した植物活性水を活用し
た独自の技術交流を展開。昨年6月に、中国遼寧省瀋陽
市に合弁会社「瀋陽豊澤隈元水研究有限公司」設立。

人やモノの交流の基本は食。行政や民間
の力を集め、中国や韓国との人的、文化的
交流を通じた地域の活性化につなげたい。

の可能性を通じて、阿久根市の
活性化につなげることができな
いかお話を聞かせていただけ
ばと思います。

人的交流を活用した

農産物のブランド確立

空き店舗を活用した

商店街の活性化

隈元 まず、日中交流を活用し
た農政事業活性化についてです
けれども、阿久根市には食の大
図鑑といわれるように、いろん
な農作物の中に、いいものがあ

りますが、高齢化のために農業
従事者が年々減少し休耕地が目
立っているという現状がありま
す。そこで、廃校になった学校
などを活用した簡易の宿泊研修
施設を作っていたら、日本の
農業技術を学びたいという優秀
な人たちに、どんどん阿久根に
来ていただく、皆さんに農業を
教えながら阿久根の農業を活性
化したらどうでしょうか。その
中で、阿久根にある珍しいもの
や阿久根にしかないものをブラ
ンド化するために、労働力や技
術力など、お互いに必要とする
部分を交流によって補いながら
ブランドを確立することで、阿
久根の農業の発展のきっかけを

作りたいということです。

そこで大事なのは、ぜひ市役所で2人でも3人でも結構ですからプロジェクトを作っていたいで、いろんな農業支援や経営指導などをやって欲しいということ。原則として事業主体は民間を主体とし、阿久根市はそれを支援していただきます。基本的な運営方法として、

阿久根市側は農業技術の指導や土壌作り、それから農業機械の適宜使用及び操作指導など行います。中国側は今、日本の最新技術を修得したい人たちが非常に増えていますから、そういう人たちを技術研修でこちらに呼んで、農業に従事しながら農業技術を修得させるということをやります。

将来的には日本も、自給自足というような時代になると思います。ですから、阿久根の休耕地を有効利用することによりブランド化をきちんとすることが大事です。そして、民間まかせでなく市役所のプロジェクトを組んだ人たちにも、そこから給料が出るようにして利益を出し儲けた分は、また農業に還元していくということを推進していきたいというのが農業についての私の提案です。

次に、日中韓交流を活用した阿久根商店街の活性化として、シャッターを開けるためにはどうしたらいいかということですが、アジア雑貨というのをご存知でしょうか。デフレ現象や大規模店の台頭で個人商店の多くが閉鎖している現状のなかで、市街地商店街に中国や韓国の個性あふれる商品を取り扱う店を出し、競争力を持たせた特徴ある商店経営により商店街の活性化を図ろうとするものです。

その構想として、まず阿久根の駅前から高松橋あるいは本町通りのシャッターの閉まっている店主に事業内容について紹介します。自分では出来ないというのであれば、そこに家賃を払うようにすれば建物を建てる必要もなく、看板や駐車場などのインフラ整備については行政にお願いしたり、いろんなことができると思います。そこで、橋渡しとして物品の流通などについて紹介し、阿久根にそういう仕事をやりたいという人がいればやってもらい全国区でやりたいということであれば全国から募集してやる。その中に中華街があり韓国街があり、食あるいは雑貨などを含めて、きちんと町の整備をすることにより阿

久根に來られた人たちに中国、韓国を味わっていただく。そして、先ほどの阿久根のブランド化した品物を並べる。そういうことが大事だと思えます。皆さんで案を出し合い構築すれば私は絶対できると思えます。一店舗、2店舗では来る人は限られていますから、一気にやらないと意味がありません。商店街や商工会議所、銀行など、いろんなところと相談しながらアンケートをとり、協力していただくかどうか、それらの具体案をみんなで作ればどうでしょうか。そうすれば阿久根特産の塩干物もそこに並ぶでしょうし、阿久根で生産したものを首都圏や関西圏に送ることだけがビジネスではないと思えます。阿久根にはこんなものがあるというものを、その中に作ってあげばいいのではないのでしょうか。

そういうことを、いつやるかではなく、今やろうということ。そうしなければ中国においていかれます。韓国の農業技術はすでに日本より進んでいます。中国は、まだ日本より30年遅れています。これを3年で同じレベルに持つてくるのが中国の活力です。そういうことも考えていただきたいと思いま



(株)下園薩男商店 取締役社長
下園 満 氏 (53歳)
県内の水産業者で組織する鹿児島中国経済交流協同組合理事。業界全体で研修制度による中国との人的交流を促進。自社でも2年前から研修生を受け入れている。

日中の関係強化は必然的な方向。今後とも研修生を受け入れながら、お互いのしっかりと信頼関係を築いていきたい。

**将来的には海外進出も
人的交流により**

相互の信頼関係構築

す。

下園 私は、これからも受け入れ事業を進めて、水産業界でいろんな受け入れをしたいという人たちにアドバイスできるようになればと考えています。そういう時に、自分が多少なりともパイプを持って貢献できればと思っています。

鹿中協という私たちのグループとしては、まず会員、要するに組合員を増やし、受け入れる研修生を増やし、グループとしての力をつけるということです。組合が力をつけて、いろんなサポートが出来ればと考えています。そして将来的には中国との商取引、あるいは加工場の進出ということも視野に入れておくことができればと思っています。うちに来ている研修生も、まだ18、19歳ですが、「こういう工場を中国に作る気はないのか」などと聞いてきます。今は受け流していますが、いずれそういう時が来たら、この鹿中協というグループの力を利用したいと考えています。すでにグループの中にはインドネシアに工場を

持っているところも数社ありますので、決して難しいことではないだろうと思っております。

中国では制度よりも人の結びつきを重んずる伝統的な考え方が今でも生きていと言われています。林さんがよくご存知だと思います。林さんがよくご存知だと思いますけれども法治よりも人治、要するに人が治めるという考え方です。日中交流でも、この考え方が強く反映されていると思います。ですから中国の場合、いったん信頼できると判断した人物を非常に手厚くもてなし、特別な関係を築いていくというところがありますから、自分たちもそのような方向に進んでいく上での、さきがけになりたいと考えています。

日本の農業技術や中古設備

活用次第で

大きなビジネスチャンス

林 先ほど、隈元さんから農業関係のお話がありました。私から見ても、かなり興味があると思います。今の日本の農業は、技術も設備も最高レベルになっているので設備が余っています。特に中古設備はたくさん

余っています。この設備は中国の南の方では結構使えると思います。そのような設備は中国では、まだ開発されていないのでもし日本にこのような設備があるということが分かれば中国人は買うと思います。中国の河北省や東北の方はアメリカと一緒に野原ですから大きな設備があります。南の山間地の方で使う設備は中国でもあまり開発していません。今でも一部分はまだ牛を使つてやっています。

一つは設備がないから。もう一つは、新規設備を買うにはお金がかかるからです。日本の中古設備であれば性能も中国の新規設備より良くて値段もあまり高くないので、みんな喜ぶと思います。

皆さんの力を利用して、こういう設備を集めたりリストを作り展示会のようなものになれば、中国の農業関係の人たちにこちらに来てもらい、それを見せれば、多分それだけでも一つのいいビジネスになると思います。自動車学校のように、技術の指導や応援をする学校を作り、農業の技術を教えれば有料でも勉強に来ると思います。また、中国に行つて指導すればその指導料も払つてくれると思います。

中古設備の販売にしても、例えば日本の中古車でも中国に持って行けば、また何年も走れます。農業設備も同じです。

交流の基本は人的交流

労働力の受け入れに

行政も真剣な取り組みを

吉瀬 先日、鹿児島に来られたある国会議員のお話を聞いておりましたら、あと20年もすると

中国は日本の国民総生産高に追いつくだろうとおっしゃる。私はもっと早いだろうと思えます。中国というところは、みな

さんがいろいろお話しされたように、河北省とか浙江省、広東省、要するに海側がどんどん発達していますが、その発展の度合いは凄まじいものがあります。人口で考えたら13億人の半分でもその地域に集まればケタが違います。ですから、中国と日本の経済の差は、かなり縮まってくると思います。そういう所を私たちはもっと考えなくてはならないと思います。

先ほどから人的交流の話が出ておりますが、私はあと10年もすれば日本の人口は減っていくと思えます。ですから、労働力の輸入という問題を、行政ももう少し真剣に考えてもらわなくてはならないと思います。

ではならないと思えます。例えば阿久根市内にこれだけの休耕地があるので来て下さい、あなた方がよければ日本に永住して下さいということをやつていかなければならないと思えます。私は日本の将来は多民族国家になるだろうと考えています。そうでないと日本の人口は減少する一方ではないでしょうか。国と国との交流というのは人的交流です。そのことを、やはりみんな考えなければいけないと思えます。

私は個人的な交流として、北京外国語大学の教授で日本語史の研究者でもある朱先生と、文献の送付などを通じて家族同士のお付き合いがあります。今でも、彼がこの文献を手に入れてくれといえは、それを送つて差し上げたりします。ですから、やはり人的交流というのは外務省と外務省のお付き合いではありません。向こうとこちらの市民同士のお付き合いなんです。

よそから労働力を受け入れる、それは研修生として半年くらいのビザで日本に入れるとかそんなことではなく、もっと本腰を入れた立法化をしていかなないと前に進まないと思えます。市役所が主体となり、そういう



(有)丸吉商店 代表取締役
吉瀬靖人氏 (68歳)

緑遣唐使として、永年にわたり中国甘肅省から陝西省に広がる黄土高原での緑化事業や現地の子どもたちとの交流を行う民間のボランティア活動に取り組む。

相手をよく知りよく認識するというところから交流が生れる。お互いが、礼節をもって本音で付き合うことが大切。

阿久根発の取り組みを早くやっ
てください。また、県や国にも
働きかけて立法化していく位で
なければ、単に中国と交流しま
しょうといってもダメだと思
います。

下園 去年の暮れに、国際研修
協力機構（JITCO）から、
監査みたいなものを受けまし
た。そこで今、研修が1年、実
務実習が2年、計3年なんです
が、これをせめて5年にしてく
れないかという話をしたとこ
ろ、実は3年どころか2年に狭
めなければいけない、5年は当
分難しいというようなことでし
た。しかし過疎が進んでいる自
治体というのは、やはりそうい
う運動を下から盛り上げて、行
政もどんどんするべきではない
かと思っています。私は、うち
の鹿中協でもそういうことを、
どんどん呼びかけていこうと思
っています。

それから、中国のパイプ、人
脈ですが、中国では、今は日本
に行くよりもアメリカに留学し
たがる若い人が非常に多いとい
うことがあります。そういう留
学生グループが10年先に中国に
帰り政府の高官や公務員のトッ
プクラスになった時に、アメリ

カとのパイプは出来るけれども
日本とのパイプは非常に細くな
ると思います。ですから、将来
の日中関係をしっかりと支えてい
くようなパイプを育てるために
は、国とか外務省とかそういう
大きなレベルではアメリカにか
なわないと思いますが、そこを
小さな自治体や一般市民、ある
いは地方の中小企業なりとのパ
イプを通して、いかなれば毛細
血管のようなパイプを張りめぐ
らす、日本はそういう方向で進
んだほうがいいのではないかと
思っています。

隈元 今、農家でも40歳、50歳
になっても結婚していない人が
大勢います。子どもがいなくな
り過疎化していくのは当然のこ
とです。私は今、その人たちに
中国の方とお見合いを勧めて
います。そこで結婚して子ども
が生れる、それが本来的交的
流ではないかと思えます。当然
それは、ビジネスが目的ではな
く、本当に結婚が目的で自費で
行ってもらい、中国サイドも日
本サイドもしかるべきところが
その窓口だけやるといことで
す。すでに何人かお見合いもし
ました。それは、結婚したいが
なかなかいい相手が見つからな

いということなので、あなた方
が本気なのであれば、私たちが
保障するので、きちんと会って
話しをしてみればどうですかと
いうようなことを今、推進して
います。

それが先ほどの話に戻ります
が人的交流であり、町の活性化
につながるのではなんでしょう
か。私は、そういうことが一番
大事ではないかと思えます。

吉瀬 私は、夫婦でもいいと思
います。こちらに来ていただい
て、子どもが出来れば、その子
どもは完全に日本語を話すよう
になりますし。そういうことが
交流につながっていくような気
がします。

アメリカへの留学にしても、
先ほどお話しした朱先生も、実は
第二外国語が日本語で、第二希
望でしたが、今になってみると
英語科に行かなくて日本語科に
行ってよかったと言っておられ
ます。どうしても今の中国の方
も日本人も、いわゆる西洋コン
プレックスが、現在もまだ抜け
きつていません。日本も、なぜ
だかみんな、すぐアメリカに目
を向けてしまいます。そういう
ものを打破していかないと、
東アジアは、最後はユーロとア

メリカにはさまれて、取り残さ
れてしまいます。

司会 ただいま、交流について
のお話で盛り上がりつつあります
が、市長にもまた熱き思いがあ
ると思いますので、少しお話を
していただきたいと思えます。

これからの地域の課題は 広い視野で考えなければ そのためには やはり市町村合併

市長 やはり、実現可能なこと
を我々が探っていくということ
が非常に重要ですし、そのため
には出来ることから実行してい
くということが大事です。今、
皆さんからいろいろなご提案を
いただきましたので、それに沿
って私たちが整理整頓させてい
ただきながら、やっていかなけ
ればならないと思っております。

最近、市町村合併の問題を他
の市町村の方とお話をする場合
も、私はこういう話をしており
ます。10年後、20年後の阿久根
の農業、あるいは出水地区の農

業を考えたら、少子高齢化でど
うにもならなくなります。どう
しても中国から相当の人に来て
いただいて、この出水地区から
手をつけて、農業をその方々と一
緒にやっていくというような大
きな視野で地域の農業を考えな
ければいけません。この地域の
農業は地域の問題だから地域だ
けで考えていけばいいという時
代は、もう終わりました。そう
いう意味では、1市2町とか細
かいことを言っていてはだめで
す。やはり器は大きくした方が
いいので2市4町で合併をし
て、人口10万人位の都市の首長
として、中国の何十萬都市、百
萬都市、二百万都市の首長と初
めて対等に話が出来ようにな
るわけです。そうしなければ、
これからの自分たちの町の
農業を考えようとしても解決し
ません。という話を、機会ある
ごとにいたしております。

今日、皆さまのお話をお伺い
していて、やはり、もつと視野
を広げてこの地域の農業を考え
ないと大変なことになるなとい
う感じがいたしました。そうい
う意味でもぜひ人的交流は早く
取り組んでいかなければならな
いと思っております。



阿久根市長

齊藤 洋三氏 (66歳)

平成8年9月に第13代阿久根市長に就任。現在2期目。就任以来、「迅速・厳正・公平」を基本理念に、明るく希望の持てるまちづくりに取り組む。

交流の中から阿久根にとってチャンスとなる状況を作り出すためにも、平成15年度はぜひ実現性のある取り組みをしたい。

吉瀬 これは農業の話ですが、実は去年の11月に、ここに陝西省の副知事が来られました。この方は農業担当の副知事なんです。また今年の4月に会うことになっていきますけれども、意向打診といえますか、もし仮に出水地区2市4町にどれだけの休耕地があるのか分かりますか、それを、ある程度そういう人たちに耕してもらいながら農業を再構築するというご意志があるのであれば、いくらでも話をさせていただきます。すぐに会わなければならぬようにしたら、早急にお会いしても話ができませんか。

隈元 私の所にも17日に中国人が2人、それから20日から3日間、韓国人が来ます。去年から合わせれば約100人以上でしょう。みんな農家に民泊しています。そして、日本語は分かりませんが身振り手振りで一懸命に話をしています。やはり農民には農民の心というものがある訳ですね。その中で、いろんな話をしながら頑張つてやっている人たちを、どんどんこちらに呼んでいます。

もう一つ、漁業のこともあります。実は、大連で去年の夏に試験した大正エビがいい結果が出て、予算を組んでいただきました。その大正エビを輸入して

日本国内でそれを食べていただく。もちろん安全なものです。そういうことも計画しています。阿久根に行けば何でも店先に並んでいるという一つの基地は漁業も農業も一緒です。ですから食という原点にかえれば、人的交流というものが一番大事だということが分かります。

阿久根は、出水地区を含めて農業と漁業が中心ではないでしょうか。やはり、食の中心は漁業と農業だと思います。

司会 それではここで、平成15年度に、これは阿久根市でも考えてみたらどうだろうかというようなご提言があれば、お話を聞かせたいと思います。

**まずは組織づくりと情報交換
研修生同士の交流も**

下園 そうですね、当面は情報交換や研修生や実習生の交流が中心になるのではないのでしょうか。

川内市では、警察署が中心になって市役所や関連企業、それから川内純心大学に中国から留学している教授、こういう人た

**国際社会に対応できる
人材の早期育成を**

林 私も、研修生のことは考えました。皆さんの話された通りです。日本は研修生を受け入れた方がいいと思います。

私の会社の事情でいえば、将来は、チャンスがあれば合弁会社としてやろうかなと思っております。でもまずは、下園社長が言われたように市役所の方で、ぜひグループ化、組織化をしていただき、国際業務に対応出来るような人に育ってもらいたいです。それは例えば商工会議所でもいいと思います。今から育てば、まだ間に合うと思います。そういう人がいないと、いろいろ頼まれてもやはり出来ないということになってしまいます。

もう一つ、商工会議所は一般的にはサービスの業務ですけれども、実際はお金になるようなこともあります。それは、私たちの会社が輸出する場合には原産地証明書を発行してもらわなければなりません。実際の業務は簡単です。証明書にハンコを押すだけです。それで会社はお金を払います。でも、こちらの商工会議所ではやったことがあ

りません。今は横浜の商工会議所に頼んでいます。そういうところがこちらでもできるように頑張ればいいと思います。

下園 うちの組合では、行政書

士の免許を持った元国税庁の職員を専属で使っています。その他に民間企業の役員だった人とかをコンサルタントに入れていきます。ですから、かなりの知識のある人でないと、なかなか難しいです。この研修生の受入れで一番の問題点は、手続きの煩雑さということです。これを行政がやってくれば、これにすることはありません。

私のところでは、最初に来た研修生が来年の7月には中国に帰ります。彼女たちは、本当にしっかりとしています。私は彼女たちの両親や親戚の人たちとも向こうで去年の3月に会って来ました。これも本当に素晴らしい人たちで、こういう方々とお付き合いをして、やがて何かできる時、力になっていただければいいなと思っています。突然中国に行ってパートナーを探すということではなく、日本にいる3年間のうちに、しっかりと信頼関係を持ちたいと思っています。

河南源兵衛や謝文旦

歴史的交流示す記念碑や簡易の宿泊研修施設を

簡易の宿泊研修施設を

吉瀬 とにかく阿久根には、河南源兵衛さんの話もありますし

謝文旦の話もありますが、何の証もあります。「実は藍会栄という人は日本名で河南源兵衛で、何年頃日本に来られて子孫が今でも住んでいます」「謝文旦という人はこういうものを残しました」というような碑を番所丘公園にでも立てたらどうでしょうか。そういう記念碑があれば、向こうから来られた人をご案内して阿久根と中国のつながりが深いということが分かり、あつと思うでしょう。そういうものを作ればどうでしょうかということの一つあります。

二つ目は、阿久根には中国の人たちが研修などで来られた時に宿泊する場所がありません。自炊出来るような場所がですね。例えば隈元社長さんのところに半年間、研修に来るといような時に、みんな材料を買ってきて自炊しながら研修が受けられる、そういった施設などは用意していてもいいのではな

いでしょうか。あまり予算をかけなくても、今は阿久根の町も、いっぱい家は空いていますし、会社の社宅のようなところでもいいですし、そういうものを利用してもいいと思います。

平成15年度は

具体的な取り組みを

スタートする年に

隈元 まず、農業の件につきましては、阿久根市を中心に、空いている畑や農家の人たちの土地の空いている状況をきちんと把握していただき、農作物のブランド化をスタートしたいというのが私の希望です。

それから、商店街のシャッターを開けるということについては、プロジェクトを作り3人位で一緒に回り、シャッターが閉まっているところに、いろんなアンケート調査、開きたいのかそれともこのままにするのか、私たちは具体的にこういうことを考えているというものを打診して欲しいと思います。その結果、やりたいという人がいればさっそく中国、韓国から私のリスクで物を持ってきて並べてみ

るということをスタートしたいと思っています。それを、平成15年度にさっそく取り組んで欲しいということが、私の希望でありお願いです。

下園 先ほど市長からお話がありましたが、人口2万7、8千

人の阿久根市、あるいは野田、高尾野、長島、東。そういう小さな組織が中国とお付き合いしようとしても、なかなか相手にされません。いろんな研修生を受け入れるにも、それなりの専門的な知識を持った人が市役所の中にいるというような体制を固めるためには、まず2市4町の合併だけはぜひやっていただきたいです。まず、市として力を付けないことには、やはり難しいと思います。

林 私から、もう一つだけ。

先ほど市長や隈元社長からお話がありました休耕地の件について余っている農地だけでなく、余っている農業機械も一緒に情報を集めて、どのように生かすかを考えることも、面白い仕事だと思っています。

吉瀬 それから、若い職員の方をぜひ中国に派遣してください



司会の山田総務企画課長

下園 緑の遣唐使もぜひ行っていただきたいです。私も一度行ってみました。正直言って二週間位ですら疲れましたが、いざまた家族5人で行ってみたいと思う程の魅力を感じました。あれは、本当にいい経験でした。

司会 今、皆さま方から、平成15年度はこんなことも出来るのではないかといいことで、いろいろのご提言がありました。組織づくりの問題や研修生を受け入れるための宿泊施設、あるいはモニユメント、農家の休耕地の把握、そしてシャッターの閉まっているお店の意向について

2003年 新春座談会

のアンケート調査。そういう皆さま方のお話をお聞きして、最後に、市長としてのお考えを聞かせていただきたいと思います。

市長 今日、どうもありがとうございます。ありがとうございました。皆さまからいろんなご提案をいただき、希望が持てるなということを感じました。

まず吉瀬さんがおっしゃるように、やはり阿久根は中国との交流が歴史的に深いと言いながら、その歴史を証明する場所とか拠点になるところが無いのでそういう場所をまず設けなければならぬと思います。河南源兵衛さんを中心にしたいろんな歴史的なものをきちんと展示できるとか、あるいは記念碑を作り、ここ上海とはまっすぐ結ばれていますというふうな。そこには文旦も植えて、秋には素晴らしい文旦がなるような場所ですね。そこへ中国から来られた方々を案内できるようなものも、やはり作っていかなくてはならないと思います。

同時に、林社長や隈元社長のような方々が、研修生を受け入れた時の宿泊施設的な機能と研修センター的な機能を併せ持つ

たものを作るのも、おもしろいという気がいたします。

そういう実現可能なものについては、我々も真剣に取り組んでいかなければならないと思います。

商店街の活性化についても、いろいろのご提案をいただきましたが、これらの調査研究は市役所でも出来ずから、これからそういう調査研究をやってみたいと思います。

農業については、休耕地のお話もありました。これにつきましては、土地の貸し借りは日本人同士でも非常に難しい面がありますから、阿久根市役所の組織として一定の土地を確保して、あるいは休耕地を借りて、実験的な農業をやってみる。まずは窓口をつくるために、そういう取り組みが必要ではないかと考えています。そして徐々にその窓口を広げていくということをやらないと大変だと思えます。今、市の農業委員会でも土地の集約に精力的に取り組んでいます。なかなかうまくいかないという状況があります。ところが一方で、どんどん荒れていく休耕地が増えています。休耕地が増えても、なかなか貸してもらえないというその辺の状

況を打開する道は作っていかなくてはならないと思います。

人的交流につきましては、おかげさまで、皆さま方に一生懸命にやっていたいただいておりますので、去年、一昨年あたりから非常に多くの方にこの阿久根を訪れていたいただいております。ただ、それが1回きりで終わってはいけませんから、ずっと阿久根を思っていた方がいいかなければならないと思っております。

そして、最終的には阿久根市の職員を中国に派遣して、役所同士でも人的交流を図るということもやっていいのではないかと考えております。

この平成15年度は、ぜひ、そういうことで実現性のある方向に取り組みをしたいものだと思います。どうかよろしくお願ひいたします。

司会 皆さん、本日は本当にありがとうございました。

※対談者の発言内容につきましては、要約して掲載させていただきます。

中華人民共和国行政区

- | | | |
|---------|---------|---------------|
| 1. 黒竜江省 | 12. 四川省 | 23. 北京市 |
| 2. 吉林省 | 13. 浙江省 | 24. 天津市 |
| 3. 遼寧省 | 14. 福建省 | 25. 上海市 |
| 4. 河北省 | 15. 江西省 | 26. 重慶市 |
| 5. 山西省 | 16. 湖南省 | 27. 内モンゴル自治区 |
| 6. 陝西省 | 17. 貴州省 | 28. 寧夏回族自治区 |
| 7. 山東省 | 18. 広東省 | 29. 新疆ウイグル自治区 |
| 8. 河南省 | 19. 雲南省 | 30. チベット自治区 |
| 9. 江蘇省 | 20. 甘肅省 | 31. 広西チワン族自治区 |
| 10. 安徽省 | 21. 青海省 | 32. 香港特別行政区 |
| 11. 湖北省 | 22. 海南省 | 33. 澳門特別行政区 |



火災や災害のない1年でありますように！

火災や災害のない1年を願う新春恒例の消防出初式が1月12日、中央公民館前広場で盛大に開催されました。

式典では、消防関係者などが出席するなか、斉藤市長らによる観閲、消防署員や消防団員の展示訓練、幼年消防クラブによる演技などが披露されたほか、永年勤続者らの功労者表彰が行われました。その後、消防車を先頭に新港まで行進。見学に訪



防火の誓いも新たに、新春の青空に向けて一斉に放水

れた多くの市民らが見守るなか、新春の青空に向けて防火の誓いも新たに一斉に放水しました。なお、表彰された方々は次のとおりです。 ※敬称略

表彰受賞者

【団体の部】

◆市長表彰

○優秀分団

▽牛之浜分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

【個人の部】

◆日本消防協会表彰（伝達）

○勤続章（30年）

▽牛ノ濱一男（中央分団長）

◆県消防協会総裁表彰（伝達）

○功績章

▽永井野昭則（尾崎、勤続20年11月）▽上松直幸（中央、同20年10月）▽大磯祐一（鶴川内、同）▽松永三千年（牛之浜、同）▽野中一彦（弓木野、同）▽田原美行（田代、同）

○精績章

▽折橋雅彦（弓木野、勤続15年10月）▽奥平一宗（大川、同）

▽石原勇一郎（黒之瀬戸、同）

▽山下友治（中央、同）▽中園修（同）▽石井久（三笠、同）

▽神之田広明（大川、同）▽大田武（佐潟、同）▽永井野千年（尾崎、同）▽中野廣道（田代、同）▽石澤一昭（黒之瀬戸、同）

○勤続章（30年）

▽牛ノ濱一男（中央）

○勤続章（20年）

▽永井野昭則（尾崎）▽上松直幸（中央）▽大磯祐一（鶴川内）▽松永三千年（牛之浜）▽野中一彦（弓木野）▽田原美行（田代）

○勤続章（10年）

▽慶越健一（折口）▽富永幸男（赤瀬川）▽石澤勝徳（三笠）▽秋野洋（多田）▽立野信之（中央）▽新町勝利（同）▽上野正俊（同）▽冨吉俊文（佐潟）▽野中彦彦（弓木野）▽前田和久（同）▽牧内達志（赤瀬川）▽金井光弘（田代）▽大下本成二（多田）▽田上厚志（黒之瀬戸）

○勤続章（15年）

▽谷口洋一（尾崎）▽春田義孝（多田）▽尾塚禎久（佐潟）

▽平田一美（鶴川内）▽柏木輝雄（三笠）▽坂上徹（鶴川内）▽山崎洋一（同）▽米次賢三（田代）▽竹原誠司（黒之瀬戸）▽中野貴文（中央）

○優良団員

▽田原正信（田代、勤続13年）▽竹割平一郎（三笠、同）▽本孝志（田代、同）▽富永振二（中央、同）▽花木信治（大川、同）▽東園忍（桑原城、同）▽落正志（西目、同12年）▽迫口剛（桐野、同）▽花田良一（大川、同）▽花木達矢（同）▽中園哲朗（鶴川内、同）

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

○優良分団

▽桑原城分団▽多田分団▽大川分団▽尻無分団

- 勤続章（10年）
- ▽中尾隆樹（鶴川内）▽若松義徳（尾崎）▽河北篤司（桐野）▽飛松勇（西目）▽福田昭次（佐潟）▽野畑良久（多田）▽川井隆章（三笠）▽寺下登志嗣（三笠）▽的場錠治（大川）▽西野善樹（折口）▽新坂上寛樹（赤瀬川）▽園田豊（中央）▽新町博行（同）▽中村健二郎（同）▽猿楽浩士（同）▽磯畑章（大川）▽栗林鉄矢（鶴川内）▽釣井博文（折口）▽牟礼鉄男（牛之浜）▽尾崎勝則（尾崎）▽中面真幸（多田）▽尾上国男（古里）

貴重な文化財を火災から守ろう！

第49回文化財防火デー（1月26日）にちなんだ防火訓練が1月24日、市立郷土史料館で実施されました。

同館には、県指定考古資料の「阿久根砲」をはじめ、河南文書など歴史的にも貴重な文化財が多数収蔵されています。

この日は、1階の給湯室から出火したとの想定で、職員らが初期消火や来館者の避難誘導、文化財の搬出、消防署との連携など本番さながらに訓練を実施しました。



郷土資料館での訓練の様子

平成15年成人式

352人が大人の仲間入り!

新成人の門出を祝う平成15年の成人式が1月5日、市民会館大ホールで開催されました。

今年成人式を迎えたのは、昭和57年4月2日から昭和58年4月1日までに生れた方々です。

式典では、斉藤市長が「故郷阿久根の脈打つ血潮を受け継いだ21世紀を担う若きリーダーとして活躍されることを期待しています。前途洋々たる大きな海原に夢と希望を乗せて船出さ



新成人の激励に迫力ある演奏を披露する阿久根太鼓響流の皆さん

れる皆さんに祝福とご期待を申し上げます」と式辞を述べ、新成人の皆さんを激励しました。

第2部の交歓のついででは、新成人の皆さんに斉藤市長、高原市選挙管理委員会委員長から記念品が、新成人からは本市へ青少年向け図書目録が贈呈されました。

さらに、新成人を代表して富吉正幸さんと大尾由美子さんが意見発表を行いました。この中で二人は、「私たちが社会のなかで自立し役立つ人間になってこそ、これからの人生が開けてくると思います。まだまだ分からないことや知らないことが多く人間的にも未熟ですが、今日を境に、大人としての一歩を踏み出して行きたいです」（富吉さん）、「成人式を迎え、自身身の行動に責任を持ち社会人として恥ずかしくない人間になりたいと思います。今日の気持ちをお忘れないうち頑張りて行きたいです」（大尾さん）と新成人としての抱負を述べました。

高規格救急自動車 購入に役立てて!

阿久根地区消防組合に 市内企業から寄付

救急医療に大きな力を発揮する高規格救急自動車の購入費に役立ててもらいたい」と、この程市内を中心に娯楽施設などを経営する八光グループ（橋之浦良文会長）から1千万円が阿久根地区消防組合に寄付されました。

同グループでは平成6年にもワゴン車2台を同組合と市教育委員会に寄贈しています。1月24日、市役所を訪れた橋之浦会長から斉藤市長に目録が贈呈されました。

現在、阿久根地区消防組合には6人の救急救命士がいます。高規格救急自動車には、この救急救命士の力を発揮できる資器材が搭載されており、医師の指示で一般の救急隊員には許されていない特定の医療行為（心肺

停止患者に対する除細動、器具を用いた気道確保、静脈路確保のための輸液の特定3行為）を実施できるほか、搬送中に病院と心電図の送受信もできます。橋之浦会長は昨年、新聞報道で、資器材も含め1台約5千万円と高価な高規格救急自動車の導入が、県内でも阿久根地区は遅れていると知り、「日頃から生命と財産を守っていたらいており、一日でも早く導入してもらうための手助けができれば」と今回の寄付を申し出ました。

阿久根地区消防組合では、今回の寄付により当初の計画を早めて現在、平成15年度中の導入に向けて準備を進めており、救命率の向上につながると大きな期待が寄せられています。



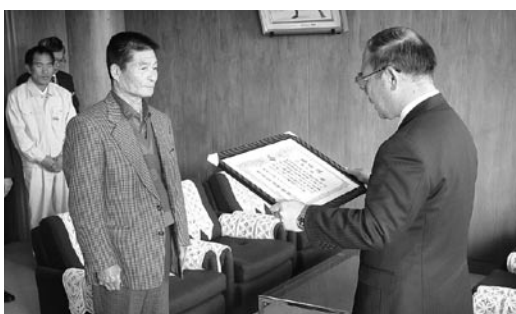
斉藤市長に目録を手渡す橋之浦会長（右）

尻無下区が 河川愛護運動で表彰

尻無下区がこの程、県の平成14年度河川愛護運動表彰団体に選ばれました。1月22日、市役所で表彰式があり、濱田行弘出水土木事務所長から尻無濱軍吉区長に表彰状が贈られました。

同区を流れる尻無川は、豊かな自然に育まれアユやエビなどの生物も多数生息、初夏にはホタルも飛び交う清流です。

尻無下区では、永年にわたる地域ぐるみで同河川の草刈りや清掃作業を実施しており、その取り組みが河川愛護運動として高く評価されたことから、今回の栄えある受賞となりました。



市役所であった表彰式の様子



和服姿で、朗々と「よいこん節」を歌いあげる漁業青年団の若者たち。人々は、豊漁や航海の安全を願いながら、えべっさんに焼酎をふるまいます。

えべっさん

今年も頼んでな！

えびす祭りとともに受け継がれる心と伝統

豊漁と航海の安全を願う正月の伝統行事「えびす祭り」が、1月10日、市内各地で賑やかに開かれました。

各地域のえびす様は、人々に敬いと親しみの気持ちを込めて「えべっさん」と呼ばれながらそれぞれの地域に伝わる独自の風習や伝統によって今日まで大切に受け継がれています。

今回は、今でも漁業青年団の若者たちが「えべっさん」を守り続けている倉津地区の祭りを通して、日々自然と向き合いながら漁師という仕事に誇りを持って暮らす人々と、そこに脈々と受け継がれている祭りの様子をご紹介します。



明日の本番にそなえ、よいこん節の練習

1月9日、午後7時、本番を明日に控えたこの夜、祭りの会場となる倉津地区漁民研修センターでは、倉津漁業青年団（倉津重信団長、団員12人）の若者たちが、「よいこん節」を練習している最中でした。

「よいこん節」は、えびす様を会場から送り出す際の送神歌です。朗々と1時間以上も続くこの歌を倉津地区では団員が一人ずつ交互に歌い継いでいきます。そのため、例年こうして祭りの前に全員揃って自分の歌う箇所を確認しながら練習します。若い団員がうまく歌えずにいると、すかさず先輩の団員が歌い継ぎお手本を示します。その傍らでは青年団を卒業したOBも集まり後輩たちの練習ぶりを見



会場設営など、祭りの準備もすべて団員の手で行われます。

守っています。おそらく、こうして代々、先輩から後輩へと歌い継がれてきたのでしょうか。一通りよいこん節の練習を終えた団員らは、明日の準備や本番のスケジュール、役割分担などの打合せを行い、この日は解散となりました。

1月10日、祭り当日の朝、会場を訪れると、一番奥の部屋で男女2体のえびす様が化粧直しの最中でした。化粧直しはベテランOBの役目です。

えびす様は、港の先にある祠から年の瀬の夜、こっそり運ばれてきて、ここで新年を迎えました。潮風を受けながら人々の暮しを見守ってきたえびす様は



念入りに化粧直しされる
えべっさん(上)



化粧直しを終え仲良く2体並んで鎮座する
えべっさん。横には、つり針にかかったタイも
供えてあります。(上)
「これからも、この祭りを青年団で受け継いで
いきたい」と語る団長の倉津重信さん(下)

一年間のほこりをきれいに拭き取られ、赤や緑、青などの塗料でいいねいに化粧を施されています。
その頃、他の団員たちも、会場の設営や、港にある祠の清掃やペンキ塗り、宴席の料理の手配、しめ縄作りなど、それぞれの役割に分かれて祭りの準備に余念がありません。
忙しい準備の合間に、団長の倉津重信さんに話しを聞くことができました。正月早々から、案内状の発送など、すでに準備

が始まっているようで、「この祭りが終わらないと落ち着かなくて、新しい年が始まらない気がします。以前は若い団員は祭りの翌日も朝5時起きでみんなの朝食を用意したりしていましたが時間が遅れたりすると大変でした。伝統の行事なので、やはりプレッシャーがあります」と笑顔で答えてくれました。
他の地域と同様に、倉津地区でも漁業後継者は年々減少しています。後を引き継ぐ若い団員もなかなか入ってこない状態で現在、一番若い団員でも28歳とこのこと。団員は40歳になると青年団を卒業になるそうですが、最近では卒業したOBたちもこのえびす祭りを支えています。「今は漁師にとって厳しい時代ですが今年も漁協も合併し組合も新たなスタートを切りま

す。我々も厳しいとばかり言うてはいただけません」と真剣な表情で語る倉津団長。最後に「先輩たちから受け継いだこのえびす祭りをこれからもできる限り青年団で残していきたいです」と力強く話してくれました。
午後5時、いよいよ祭りが始まりました。地域の住民や来賓など約130人が出席。えびす様を前に賑やかに焼酎が酌み交わされます。この間、青年団の団員は、かいがいしく焼酎を運んだりして動き回ります。
午後7時頃、賑やかだった宴がお開きとなり、会場の片づけが始まりました。気がつくくと、着物姿の青年団の若者たちが最前列に並び、会場に残っていた人々もえびす様に向かってき



団員にしっかり抱えられながら集落を練り歩く
えべっさんの一行



再び港の先端にある祠に奉納されたえべっ
さんに手を合わせる団員たち。

んと座り直しています。
いよいよ団員らが朗々と歌う送神歌「よいこん節」が始まりました。誰からもなく「えべっさんに飲ませんか」と声がかかる人々が代わる代わるえびす様の前に進み出て「えべっさん、今年も頼んでな」「魚がずんばいとるつごと頼んど」「倉津の船を頼んど」などと大きな声でお願ひしながらえびす様に焼酎を振る舞います。
歌が始まってからおおよそ1時を過ぎた頃、よいこん節も終盤に差しかかり、えびす様の帰り支度が始まりしました。歌が終わるとあつという間にえびす様は会場の外に運び出されました。その後えびす様は、団員らにしっかりと抱えられながら集落内

を練り歩きます。倉津地区ではこの時、「えびす様の前を決して横切ってはならない」というしきたりがあります。もちろん私も、祭りが最初からやり直しになるので絶対に前を横切らないようしっかりと念をおされました。
一行は、約半時間ほどかけて集落内をねり歩き、いよいよ港の先にある祠の近くまで来た時、えびす様を抱えた先頭の一人が突然一斉に走り出しました。これもやはり古くからの習わしだそうです。こうして、えびす様は、あつという間に元の祠に奉納されました。そして今日もまた、みんなに敬われ親しまれる「えべっさん」として、人々の暮しをそっと見守り続けています。



華麗なテクニックで難コースに挑む！

—— トライアル競技 九州選手権シリーズ開幕 ——

モータースポーツの一つ、トライアル競技の年間チャンピオンを決める2003年九州選手権シリーズの開幕戦が1月26日、番所丘公園で開催されました。

同公園での開催は4年連続。昨年に続いての開幕戦となった今大会には九州各地から63台が出場し、公園内の斜面や林など地形を生かして設けられた8か所のセクション(採点箇所)に3回ずつトライし、国際B級、国内A級、B級、オープン、ジュニアの5クラスでオートバイの操縦技術を競いました。

会場には多くの見物客らも訪れ、バイクを巧みに操りながら急斜面を駆け上がったり岩を乗り越えていく選手たちの華麗なテクニックに、驚きの声が上がっていました。

古希の祝いは 満開の桜の下で！

—— 脇本中昭和26年卒業生が梶折鼻公園で植樹 ——

脇本中(現在の三笠中)を昭和26年3月に卒業した同窓生が1月19日、黒之瀬戸海峡を望む梶折鼻公園で桜の木約30本の植樹を行いました。

これは、来年に古希を迎える同窓生らが、故郷への恩返しと同時に自分たちで植樹した桜が満開となる春にここで再会し古希を祝おうと、昨年に続いて行ったものです。

この日は、あいにくの小雨模様の中、出水地区在住者を中心に約40人が参加。趣旨に賛同し全国の同窓生から寄せられた寄付金で購入した桜を大事に植樹しました。会長の谷朝海さんは「満開の桜の下で同窓生たちと再会するのが今から楽しみ。春にはきれいな花が咲くので、ぜひ多くの人々に足を運んでいただきたい」と話していました。



音楽で伝わる 心のふれあい

—— わきもとふれあいコンサート ——

脇本地区公民館で1月26日、全国各地でライブ活動を続けているこんのひとみさんを招いて、わきもとふれあいコンサートがありました。脇本地区子ども会育成会が、脇本小・三笠中両校PTAの協賛を得て主催したものです。

こんのさんは、以前からCMの歌やナレーションなどで活躍。テレビから流れるその声は、お茶の間でもおなじみです。この日は、自身が作詞作曲を手がけ、NHKのみんなの歌で話題になった「パパとあなたの影ぼうし」など約6曲をピアノの伴奏で披露した他、会場の観客からのメッセージに、その場で次々と曲を付けて歌ったりしました。会場を訪れた約200人の観客は、こんのさんの心にしみる語り口ややさしい歌声に、じっと耳を傾けていました。



家族と離れ 貴重な共同生活体験！

—— 小中学生らが 華のぼんたん学寮 ——

市内の小中学生らが家族と離れ、異年齢集団で寝食を共にしながら生活する「華のぼんたん学寮」が、青年の家で1月25日から2月1日の7泊8日の日程でありました。

今回始めて開かれた学寮には、市内の小学5年生から中学2年生までの男女20人が参加。期間中、青年の家から学校に通い朝晩の食事や身の回りのことは自分たちで協力しながら生活し、休日にはカヌーや星空観察なども体験。今回の共同生活を通して、参加者らもちょっぴりたくましくなったようでした。

みんなで山頂めざす！ 地元の天狗山で野外学習

—— 西目小学校全校登山 ——

西目小学校の全校児童らが1月15日、地元の天狗山への登山を行いました。

自然に触れ合いながら体力増進を図ろうと、野外学習の一環として行われたもので、学校を出発した児童たちは、約1時間程で山頂に到着。さっそく、全員で学校の花だんの土づくりに使う落葉を集めた後は、各学年ごとに分かれて史跡巡りなどの野外学習を行ったり、お弁当を広げて昼食をとったりしながら、ふるさとの自然の中で、楽しく有意義な1日を過ごしていました。



日本古来の言葉の文化に親しむ

—— 鶴川内中学校 百人一首カルタ大会 ——

鶴川内中学校で1月29日、全校生徒による百人一首カルタ大会がありました。

同校では、日本が世界に誇る言葉の文化に触れることで古典に親しもうと、毎年このカルタ大会を行っています。

この日は、全校生徒が16班に分かれて学年対抗形式で対戦。生徒らは、読み手が優雅に読み上げる句に耳を傾けながら相手チームより1枚でも多くの札を取ろうと、下の句が書かれた取札を懸命に探し、我先にと手を伸ばしていました。

家業の繁栄願う 子どもたちの元気な声！

—— 倉津地区で麦ほめ ——

子どもたちが各家々を回り、家業繁栄を願う正月行事「麦ほめ」が1月14日、倉津地区でありました。

この日は、地区内の小学生が3班に分かれて各家を訪問。それぞれの家の職業に応じて「ここの麦はええ麦」「ここの網はいい網」などと大声でほめそやしました。口上が終わると、出迎えた家主からお年玉がもらえますが、声が小さいと「もう一回」と繰り返になります。地区内には、暗くなるまで家業繁栄を願う子どもたちの元気な声が響きわたっていました。



出水地区内の中学生が熱戦を展開！

—— アクネススポーツ杯争奪 中学生バスケットボール大会 ——

市バスケットボール協会主催の中学生バスケットボール大会が1月26日、市総合体育館などで開催されました。

大会には、出水地区の中中学校から男女合わせて15チームが出場。選手らは、巧みなドリブルやパス、シュートなど日頃の練習の成果を発揮しながらコート内で白熱した試合を展開しました。

大会の結果は次のとおりです。

○男子 (回)出水 (月)東郷 (火)阿久根

○女子 (回)出水 (月)大川 (火)東郷

図書館だより

黒之浜が本当に好きでした



元阿久根市職員の富田哲美さんの遺稿写真集『わたしのふるさと〜黒之浜〜』を寄贈していただきました。ご遺族によって自費出版された写真集には、モノクロ、カラーの写真、約200枚が収められており、黒之浜の風景や人を心から愛したという思いがひしひしと伝わってきます。

図書館では、多くの方に見ていただけるように、貸出を行っています。心のこもったこの1冊を、みなさんも手にとってご覧ください。

《新着図書》

- ▷宮本輝「星宿海への道」▷沢田ふじ子「雁の橋」▷童門冬二「武蔵の道」▷群ようこ「小美代姐さん花乱万丈」▷五木寛之「愛に関する十二章」▷唯川恵「今夜誰のとなりで眠る」▷勝目梓「影裁き」▷平岩弓枝「中仙道六十九次」▷丸山健二「月は静かに」……他多数

阿久根短歌会

※送り仮名は歴史的かなづかいを使用しています。

冬草の青き芽吹きに霜置きてしづもり深く年明け渡る

脇本 宮原 範子

紅白の梅つぎつぎに咲き出でてをりをり匂ふ花かげに立つ

上野 亀沢 笑子

高野山に迫りくる霧たちまちにバス遮りぬ下は雲海

新町 玉川 慶子

枝ささへふるる桜のみぢ葉に愛しきまでの命つたはる

琴平 川畑 スミ

去年までは共に祝ひし新年の雑煮の膳も陰膳となりぬ

新町 遠矢 律

迎へたる老の新年静かなり子等の賑はひ遙かとなりて

牛之浜 若松 薩男

銀鱗のごとく輝く海原にすなごる船のあまたひしめく

折口 別府 義明

看護師の笑顔絶やさぬやさしさよ心のぼの明るくなりぬ

脇本 赤崎 タエ

さはやかな青空渡り鳴く鶴に異国の町の様を聞きたし

長野 外山トミエ

荒崎の吹ぶく刈田にひしめきて鶴一万羽こそぞり高鳴く

上野 河南誠一郎

消費生活講座 (☒111)

若者が狙われやすい商法

*キャッチセールス

アンケートに答えてほしいと路上で呼び止め、話しをしているうちに営業所に連れていき、エステや化粧品等の契約をさせる商法です。

*アポイントメント商法

電話で「あなたが選ばれました」「キャンペーン中」等と誘い出し、会場に連れていき、アクセサリーや絵画の契約をさせる商法です。

*マルチ・マルチまがい商法

友人、知人を組織に加入させたり、商品を別の人に売れば、あなたに手数料が入りますよと簡単に高収入が得られるような説明で勧誘します。しかし、簡単に高収入など得られるわけではなく、自分の支払と大量の商品が残るだけです。

このように若者を狙った悪質商法は年々増加しており、特に20歳前後の若者をターゲットにしています。今年の春、社会人になる人、一人暮らしを始める人…。夢や希望に満ちていることでしょう。自由になると同時に責任も伴ってきます。安易な契約など、しないように気をつけましょう。

困ったな、おかしいと思ったら
市役所水産商工観光課 消費生活相談窓口へお問い合わせください。☎73-1211 (内線1112)



地域子育て支援事業 3月

子育てサークル (だれでも親子で参加できます)

子どもの遊び、母親のリフレッシュタイムに、ほっとする時間にと、お気軽に支援センターをご利用ください。

☆親子教室 (10:00~12:00)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 4日(火) 瀬之浦児童館 | 12日(水) 農村環境改善センター(牧内) |
| ” 大川児童館 | 13日(木) みなみ保育園 |
| 5日(水) 保健センター | 18日(火) 瀬之浦児童館 |
| 6日(木) みなみ保育園 | 19日(水) 農村環境改善センター(牧内) |
| 〔プレママ・サロン〕 | 20日(木) みなみ保育園 |
| 11日(火) 農村環境改善センター(牧内) | 25日(火) 鶴川内児童館 |
| ” 鶴川内児童館 | 26日(水) 農村環境改善センター(牧内) |
| | 27日(木) みなみ保育園 |

☆年齢別教室・・・農村環境改善センター

- 第2金曜日 (3/14) 0~1歳児教室 (たまごクラブ)
- 第3木曜日 (3/20) 2歳児以上教室 (こっこクラブ)

※お問い合わせはみどりが丘保育園まで

☆ユニータイム・・・西目地区集会施設

- 第3月曜日 (3/17) お問い合わせはみなみ保育園まで

☆園開放 (お気軽に園に遊びに来てください)

- 毎週 (金) みなみ保育園
- 毎週 (土) みどりが丘保育園

〔第3土曜日はお父さんも一緒にどうぞ〕

☆参加は申込制になっていきますので、前日までに下記の支援センターにお申込みください。

地域子育て支援センター

- ☎73-3457 みどりが丘保育園
- ☎72-3939 みなみ保育園

いきいき健康づくり教室のお知らせ

～～～元気で長生きのコツつかみませんか？～～～

生活習慣病は、まさにその言葉のとおり、「偏った生活習慣の積み重ね」によって起こる病気です。

生活習慣病の予防は、日々の食生活と運動から!!

そこで、食生活や運動の改善方法を中心に、生活習慣病の予防と改善のポイントについて楽しく学ぶ機会をご用意しました。

この「いきいき健康づくり教室」に参加して、若々しい生活を送りましょう!!

参加を希望される方は、**2月20日(木)までに**、健康福祉課保健予防係へ電話またはFAXでお申込みください。(会場の都合上、40人程度とさせていただきます。)

できるだけ、4日間の参加をお願いします。

☆対象者 健診結果が気になる方
家族の健康を考える方 などなど……
どなたでも参加できます。

☆場所 保健センターおよび働く婦人の家

☆費用 500円程度 (調理実習材料費)



☆日程および内容

	日時	内容	講師
第1回	2月25日(火) 13:30～15:00	◇講演 「生活習慣病をやっつけよう」 ～動脈硬化と肥満を防ごう!!～	阿久根市民病院 田辺 元 先生
第2回	3月 5日(水) 9:30～13:00	◇講義&調理実習 「バランスのとれた食生活」 ～糖尿病や 高脂血症予防の食生活～	管理栄養士 大山典子 先生
第3回	3月12日(水) 9:30～13:00	◇講義&調理実習 「血液さらさらレシピ」 ～おいしくヘルシーに若返り!!～	管理栄養士 大山典子 先生
第4回	3月18日(火) 10:00～12:00	◇講義&運動実技 <small>55分</small> 「ふれあい 楽々運動」 ◇意見交換会	日本3B体操協会 指導士 野間弘美 先生

【申し込み&お問い合わせ先】

健康福祉課保健予防係

☎ 73-1211 (内線1431・1432) FAX 73-0297

保健センター・3月の行事

母と子のコーナー

●乳幼児健診

期日	曜日	内容	対象者	受付時間
6日	木	2歳6か月児歯科健診	H12年6月～7月生まれ	13:00 ～ 13:15
13日	木	1歳6か月児健診	H13年8月生まれ	
19日	水	3か月児健診	H14年11月生まれ	
20日	木	3歳児健診	H11年9月生まれ	

●育児相談

期日	曜日	内容	対象者	受付時間
19日	水	育児相談	H14年8月生まれ及び 育児に関する相談のある方	15:00 ～ 15:15

●むし歯予防教室(フッ素塗布)

期日	曜日	内容	対象者	受付時間
5日	水	1月1日以降に歯科健診を受けた幼児	対象者	9時～9時15分
20日	木			15時～15時15分

●両親学級

期日	曜日	内容	対象者	時間
5日	水	赤ちゃんの発育について	お父さん、お母さんになられる方	10:00 ～ 11:30

成人コーナー

●健康相談

期日	曜日	場所	時間
2月25日(火)		脇本地区公民館	【時間】 いずれも9時～9時30分
2月26日(水)		大川地区公民館	
2月27日(木)		保健センター	

※健診結果や健康に関する相談を開催します。
※健康手帳をお持ちの方は持参してください。

お問い合わせ先 健康福祉課保健予防係 ☎ 73-1211 (内線1431・1432)

～ 男女共同参画豆知識 ～

先月に引き続き、DV（ドメスティック・バイオレンス）についてお知らせします。

*注）DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫やパートナーからの暴力のことです。

Check！あなたはDV予備軍？！

「ドメスティック・バイオレンス？ひどい男がいるものね。でも私には無縁の話よ」と思っているあなた、DVは決して他人事ではありません。あなたがなんでもないと思っていることが実はDVだったり、知らないうちに2人の間にDVが芽生えているかもしれません。2人の関係は大丈夫ですか？チェックシートであなたの「DV危険度」をチェックしてみましょう。

男性編



- 自分が一家の主人だから、家族は自分の考えに従うべきだ。
- 妻(彼女)や子供に対しては、ときには暴力を用いても厳しく対応しなければならない。
- 自分が手を上げてしまうのは、怒らせるほうにも原因がある。
- 仮に手をあげたり、罵ったりしたとしても、そのあと誠実に謝り、相手も許してくれているのだから問題はない。
- 妻(彼女)は、自分以外の人間とあまり交友関係をもつべきではない。
- 酒を飲むと荒れてしまいがちだ。
- 家の中のことを親戚や友人に知られたくない。
- 妻(彼女)を言葉や暴力で脅したことがある。
- 妻(彼女)が思い通りにならないと非常に腹が立つ。
- 自分の性的要求に妻(彼女)が応えるのは当然だ。

女性編



- 彼の機嫌を損ねないように彼の要求はつい受け入れてしまう。
- 彼が暴力を振るったり罵ったりするときは、とりあえず謝ってしまう。
- 馬鹿にした言葉や態度をとられる。
- 彼に恐怖を感じることもある。
- 性交渉を強要される、避妊に協力してもらえない。
- 暴力を振るわれたり脅されたことがある。
- 交友関係を制限されている。
- 経済的に困窮させられる、自由にお金を使えない。
- 彼のことを相談できる相手がいない。
- 彼は穏やかなこともあるので、自分が我慢すればやっていけそうな気がする。

DV危険度指数は

あなたのDV指数はいくら

男性編.....

女性編.....

◎ 7つ以上該当するあなた！

知らぬ間にDV加害者になっていませんか。カウンセリングなど第三者の援助を受けてください。これは放置できない問題で、しかも2人の間だけでの解決は困難です。

◎ 7つ以上該当するあなた！

DV被害者になってしまっている可能性大です。すぐに、相談所や警察に援助を求めて、カウンセリングなど第三者の援助を受けてください。DVは決して放置できない問題で、しかも2人の間だけでの解決は困難です。

◎ 4～6つ該当のあなた

将来DV加害者になってしまうおそれがあります。良好なパートナーシップを築くためにも、早めに彼女との関係を見直したり、第三者に相談するなどしましょう。

◎ 4～6つ該当のあなた

将来DVへと進む危険性があります。良好なパートナーシップを築くためにも2人で話し合ったり、できれば早めに第三者に相談しましょう。

◎ 3つ以下のあなた

今のところDV加害者になる危険性は低いようです。しかし該当項目にはDVの危険因子が潜んでいます。パートナーと話し合いながら改善を心がけましょう。

◎ 3つ以下のあなた

今のところDVの被害者となる危険性は低いようですが、該当した項目には危険因子が潜みます。パートナーと話し合い、より良い関係構築を心がけましょう。

*注「鹿児島県男女の多様な生き方情報誌 ハーモニー第23号抜粋」

上記に関するお問い合わせ

市役所総務企画課 企画係 ☎73-1211 (内線1216) Fax 73-2029

放課後児童クラブ利用申込みのご案内

平成15年度の放課後児童クラブ利用の申込みを下記のとおり受け付けます。

利用対象は、保護者等が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学しているおおむね1年～3年の児童です。

- 実施クラブ
- ・脇本児童クラブ
 - ・阿久根学童クラブ
 - ・鶴川内児童クラブ
 - ・大川児童クラブ
 - ・折多児童クラブ
 - ・学童クラブガッツ
- (出水養護学校へ通学の児童・生徒対象)

○受付開始 2月20日(木)

○受付場所 市役所健康福祉課及び各児童クラブ

○申込用紙 市役所健康福祉課、三笠支所、大川出張所各児童クラブにあります。

(継続利用も新たに申込みが必要です。)

○詳しいお問い合わせ先

市役所健康福祉課児童対策係

☎73-1211 (内線1433)

第1回 阿久根市番所丘公園

パターゴルフ大会

——参加者募集!——

◇期 日 3月16日(日) 雨天中止

午前9:30～開会式

◇場 所 阿久根市番所丘公園パターゴルフ場

◇参加対象 市内在住の親子4人1組(先着10組)
市内企業に勤務の4人1組(先着10組)

◇参加料 1チーム 500円

◇申込締切 3月13日(木)

ただし、先着10組になり次第、締め切らせていただきます。なお当日受付はできません。

◇申込み・お問い合わせ先

阿久根市美しい海のまちづくり公社

☎72-1755

鹿児島県産業別最低賃金改定のお知らせ

～えっ! 最低賃金知らないの?～

鹿児島県の地域別最低賃金及び産業別最低賃金は、下記のとおり改定されます。

鹿児島県内の使用者は、これらの最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

最低賃金名		最低賃金額		効力発生年月日
		日 額	時間額	
地域別	鹿児島県最低賃金		605円	平成14年10月1日
産業別	電気機械器具・情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業	5,273円	659円	平成15年2月14日
	各種商品小売業	5,173円	647円	平成15年1月10日
	自動車(新車)小売業	5,302円	663円	平成14年12月26日

※産業別最低賃金適用範囲

1. 電気機械器具・情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業
(医療用計測器製造業を除く。ただし、心電計製造業は含む)
2. 各種商品小売業(衣、食、住にわたる各種の商品を一括して一事業所で小売りする事業所で、いずれが主たる販売商品であるかが判別できないもの(例:百貨店、総合スーパー等))
3. 自動車(新車)小売業

以上の事業を行う使用者に使用される労働者は、産業別最低賃金が適用されます。ただし、年齢や業務内容などによっては、産業別最低賃金ではなく地域別最低賃金が適用される場合もあります。詳しくは、鹿児島労働局までお問い合わせください。

※最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどすべての労働者に適用され、使用者は労働者に対して最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

※最低賃金には、次の賃金は算入されません。

1. 臨時に支払われる賃金(結婚手当など)
2. 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与など)
3. 時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金
4. 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

※労働者のみなさん、
あなたの賃金は、
最低賃金を上回っていますか?

◆最低賃金に関するお問い合わせ先◆

鹿児島労働局労働基準部賃金室(鹿児島市山下町13-21)

Tel.099-223-8278/ Fax.099-223-057

お知らせ

知っておきたい

検察審査会

検察審査員に

選ばれたらご協力を！

交通事故、詐欺など被害にあったのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうしても納得できない。このような人のために、検察官のした処分が正しかったかどうかを審査する機関として「検察審査会」があります。

検察審査会では11人の審査員がこの審査をします。審査員は選挙権を持っている皆さんの中から「くじ」で選ばれることになっています。

あなたもいつか審査員に選ばれることがあるかもしれません。審査員に選ばれたときには、市民の代表としてこの仕事にご協力をお願いします。

なお、詳しいことは川内検察審査会事務局（鹿児島地方裁判所川内支部内）にお問い合わせください。

☎0996(22)2154

住宅金融公庫の

ローンをご返済中の方へ

ローン返済でお困りの方についてご相談を承り、以下のとお

り返済額を軽減する場合があります。

また、すでに条件変更を受けている方についても、さらに変更できる場合があります。

詳しくは、住宅金融公庫またはご返済中の金融機関に、お気軽にご相談ください。

◎収入が一定程度減少したことにより返済が困難になった方
返済期間延長（最長15年）、元金返済の据え置き（最長3年）、据置期間中の金利引き下げなどにより返済額を軽減。

◎病气やけが、その他の理由で返済が困難となった方
元金の返済額を一定期間減額。その他。

※詳しいお問い合わせ先
住宅金融公庫南九州支店
☎096(387)2000

・平日 午前9時～午後5時
・第1・3日曜日
午前10時～午後5時

所得税の確定申告は

自分で書いてお早めに

平成14年分の所得税の税務署における相談及び申告の受付は平成15年2月17日(月)から始まり

ます。申告期限は3月17日(月)です

が、期限間近になりますと税務署の窓口は大変混雑し、長時間お待ちいただくことにもなりかねません。

確定申告書は「所得税の確定申告書の手引き」を参考に、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。確定申告書の提出は郵送でも結構です。

なお、事業所得、不動産所得又は山林所得のある方は確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられています。

詳しいことは、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

(注) 個人事業者の方の消費税及び地方消費税の確定申告と納付期限は3月31日(月)です。

◇出水税務署 ☎620200
◇税金相談専用 ☎0242



技術習得講座生募集!

川薩人材育成センターでは、次の講座生を募集します。

講座名	期間	開講日	授業時間	受講料	定員	使用ソフト
パソコン科OAコース (昼間部)	3か月 (4～6月)	毎週金	9:30	40,000円	15	MS Word2000
パソコン科アプリケーション (昼間部)		毎週木	15:00			
パソコン科OAコース (夜間部)	4か月 (4～7月)	毎週火金土	火・金 18:30	60,000円	15	MS Word2000
パソコン科アプリケーション (夜間部)			21:00 土は自由演習			
CAD科(木造建築部門) (夜間部)	3か月 (4～6月)	毎週火金土	13:00 21:00	90,000円	8	専用CAD JWCAD

- 受付開始日 3月3日(月) 定員になり次第締め切り
- 講習開始日 パソコン科アプリケーションは4月7日(月)、その他は4月4日(金)
- 申込み・お問い合わせ先 川薩人材育成センター ☎0996(22)3873

お知らせ

休日の在宅医さん

- 2月16日
内山病院 ☎⁷³1551 (高松)
村岡歯科医院 ☎⁶²0601 (出水市春日町)
- 2月23日
鶴見医院 ☎⁷³0553 (大丸)
上野歯科医院 ☎⁶³2306 (出水市五万石町)
- 3月2日
喜多医院 ☎⁷²0038 (大丸)
黒木胃腸科外科 ☎⁷⁵0200 (下村)
久木田歯科医院 ☎⁷³0470 (上野)
- 3月9日
門松医院 ☎⁶⁴6100 (大丸)
おてき歯科医院 ☎⁶³0393 (出水市上知識町)
- 3月16日
山田クリニック ☎⁷²0420 (町)
橋口歯科医院 ☎⁷³0508 (大丸)
- 3月21日(春分の日)
北国医院 ☎⁷²0016 (町)
つばさ歯科医院 ☎⁶³3579 (出水市西出水町)
- 3月23日
林胃腸科外科 ☎⁷³3639 (大丸)
よしもと歯科医院 ☎⁷⁵3333 (下村)
- 3月30日
植村整形外科 ☎⁷²1041 (段)
脇本病院 ☎⁷⁵2121 (橋之浦西)
椎原歯科医院 ☎⁶⁷4111 (出水市六月田町)

ワニちゃんのひきこい

◇2月18日
◇3月4日・18日
時間 10時~10時30分
場所 保健センター

交通事故相談

◇日時 4月16日(水)
9時30分~15時30分
◇場所 市役所市民相談室

篤志寄付

広報送付お礼として次の方々からご寄付をいただきました。
・竹原ミツエ様(名古屋市)
・築瀬五男様(栃木県上三川町)
ありがとうございました。

○香典返し
福浦文子(黒之浜) 田原勝義
(牧内) 上鶴タマ(脇本馬場)
上野ノブ(陳之尾) 下蘭瞳(町)
吉田勉(牟田) 田中千久(波留)
寺地敏枝(尻無下) 五十嵐英雄
(佐瀨) 畠中嘉壽恵(遠矢) 濱

次の方々から市社会福祉協議会へ寄付がありました。ありがとうございました。
○香典返し ※敬称略
尾崎 楓(新町) 照博(高之口)
佐瀨 堅(高之口) 輝久(橋之浦東)
早瀬 綾斗(桑原城下) 雪男
小浜 天心(高之口) 勝
新蔵 水空(新町) 光明(新町)
八郷 叶夢(新町) 政志(牧内)
宮内 宏綺(浦) 真吾(新町)
波留 鼓(倉津) 和広(牧内)
角島梨香(永田下) 智明(瀉)

出生児保護者(区名) ※敬称略
出生児保護者(区名) ※敬称略
岩下 桜乃(大丸) 徹郎(牧内)
福永 梨乃(大丸) 達郎(大丸)
田島由紀七(丸内) 健二(丸内)
山下 匠(高之口) 健二(高之口)
尾崎 楓(新町) 照博(高之口)
佐瀨 堅(高之口) 輝久(橋之浦東)
早瀬 綾斗(桑原城下) 雪男
小浜 天心(高之口) 勝
新蔵 水空(新町) 光明(新町)
八郷 叶夢(新町) 政志(牧内)
宮内 宏綺(浦) 真吾(新町)
波留 鼓(倉津) 和広(牧内)
角島梨香(永田下) 智明(瀉)

死亡者(区名) ※敬称略
折橋 ツヤ(弓木野) 高光
柳田 タケ(葭野) 松崎三三
下蘭サチ子(町) 瞳
畠中 政美(遠矢) 嘉壽恵
小園セツノ(田代下) 貞雄
岡田 キミ(瀉) 保則
鶴崎 秀一(上野) ヒサヨ
寺地 徳丞(尻無下) 敏枝
園田 瞳(山下馬場) 文夫
吉田 重喜(牟田) 勉
松峯 一(波留) シゲ子
笠作 ミサ(大瀨) 有永(江)
牧尾登美子(浦) 英二
洲崎 隆志(倉津) ナツ
鳥飼 源行(永田下) 益子

社会福祉協議会



崎恭司(浜)
○篤志寄付
▽駄木イッ

誕生

おめでとう

ごめいふくを
お祈りします

サークル紹介 — スポーツ少年団編 —
少林拳を通じて 自分に自信を持て!

— 阿久根少林拳スポーツ少年団 —



少林拳スポーツ少年団は、現在、小学生から高校生まで30人の団員で毎週火曜日、木曜日の午後6時～午後7時30分まで、市民会館隣の市民体育館(武道館)で練習をしています。(随時入門者受付中です)

活動内容は道場での練習(突き、蹴り、関節技、乱取り、中国伝来の長拳等々)の他、年数回の大会出場や夏のキャンプ、合宿等々の活動を行っています。(昨年の夏は中国、崇山少林寺に武道修業に行ってきました)



少林拳スポーツ少年団の5大目標は
 1. 礼儀 2. きちんと返事 3. 自分に自信を持つ
 4. 自己反省 5. 気を養う
 以上の目標を持ち、日々活動を続けています。
 最後に、少林拳を通じて自分に自信を持てるようになれば、いじめない優しい心、いじめられない強い心を持てると信じております。
 指導者代表(春風館 阿久根道場長)
 西園 誠(連絡先 090-3412-9471)

Fresh Smile



波留 円さん(22)

(おとめ座・A型 湯区)

ただ今青春!

- ◆趣味は何ですか・・・最近、料理に凝っています。
- ◆性格を自己分析してください・・・明るく負けずぐらいでマイペース
- ◆理想の異性像は・・・思いやりがあって芯の強い人
- ◆最近夢中になっていることは何ですか・・・バレーボールです。職場のチームで毎週1回練習しています。春には大会もあるので1試合でも多く勝てるよう頑張りたいです。最近始めたばかりで実力はまだまだなんですが、チームの先輩からうまくなったねと言われるのがうれしくて。練習して、もっとうまくなりたいです。
- ◆将来の夢は何ですか・・・いろんな資格を身につけて、自分自身を高めながら社会に貢献できるようになりたいです。それと、自分を育ててくれた両親に親孝行したいなと思います。
- ◆阿久根について一言・・・阿久根は自然や食べ物、住みやすさなど、いいところが沢山あります。みんながもっと自信を持って、阿久根の魅力をよその人たちにもどんどんPRできるようになればいいと思います。

次は堀切真紀さん(永田下区)あなたの番です。



大川・尻無上地区の紅梅
 —若松四男さん方—

春の足音



脇本・黒之上地区の寒桜
 —網代亜公さん方—

人 口

2月1日現在()は前月比

人 口	26,395人(-27)
男	12,300人(-9)
女	14,095人(-18)
世帯数	10,803戸(+8)
出生	13人
死亡	36人
転入	50人
転出	54人

一年であつて欲しいと願います。

一月中旬、取材で新港の前を通りかかると東海船の入港で活気にあふれていました(写真)。忙しそうに魚を選別する女性たちの表情もイキイキ。あちこちで賑やかな会話が飛び交い、明るい笑い声も聞こえてきます。なんだかこちらまで元気が出てくるようで、やっぱり活気にあふれる港の雰囲気はいいなと思つた次第です。▽漁協関係者によると今年に入ってから東海船の入港はこの日が3度目で、サバと豆アジを主に、この日だけで3千ト、前々日も1万2千トの水揚げがあり、この時期としては好調な滑り出しのこと。今年4月には、出水地区の5漁協が合併し『北さつま漁協』も誕生します。ここはぜひともえべつさんにあやかり、豊漁続きの

